

誰でもできる停電対策

7月の台風2号、3号と8月の6号で、沖縄の市長さんたちとの面談が3回流れました。私の本拠地北海道には減多なことで台風は上陸しないので、この猛烈な暴風雨は初体験です。特に台風6号では県内の3割が停電し、復旧まで4日間を要した地域もあったそうです。長期間停電の恐ろしさは北海道ブラックアウトでも経験していますが、真っ暗な中で扇風機も使えず、ろうそく火災による痛ましい死亡事故もあったそうです。

お題の「あかるい未来」のこじつけですが、停電時でも車から電気を取れば照明も携帯もサブイパルで明るい避難生活が送れます。いまトヨタのハイブリッドカーの新型車には1500Wコンセントが常備されており、三菱のアウトランダー

や、ホンダのオデッセイにもついています。北海道ブラックアウトでは道内に1400店舗を構えるコンビニ「セイコーマート」が車のシガーライターからコンバーターを経由して自家発電し、レジとレジ周りのLED照明の電源を確保して営業を継続しました。そのおかげで多くの道民が水や食料を買うことができ「セイコーマートの神対応」と称賛されました。

沖縄は軽自動車が多いのですが、カーショップで数千円のコンバーターを購入しておくことでLED照明と携帯充電と小型テレビ、扇風機くらいは使えます。横殴りの雨に備え、吹き込み防止にガムテープの目張りも用意してください。

自治体では避難所の自家発電機は備えているのですが、避難所や役場の非常災害対策本部にプリウスを1台派遣できれば、給油なしで4日は持つ1500Wの発電機車になります。台風の襲来前にレンタカー会社に正規の料金を払ってでも確保しておくべきです。ただし、避難所に人工呼吸器や吸痰器を持って来る人たちのために使い過ぎの電圧低下には注意してください。

北海道ブラックアウトの時はプリウスによる携帯充電のボランティアがあちこちに現れました。役場施設も地域の携帯充電ステーションとして開放してはいかがでしょうか。

P.S. さて、いよいよ9月で沖縄独自の電気料金の値上げ猶予期間が終了します。来月からの大幅値上げに備える対策は取りましたか？自治体首長は9月議会で完全LED化の明るい街づくりと財政削減を宣言してください。



presenter

「あかりみらいでは停電対策の
自治体に寄贈しています。」

越智 文雄

Fumio Ochi

エネルギーコンサルタント

1957年生まれ、80年より北海道電力・電気事業連合会に勤務。1997年電事連でCOP3に立ち会う。2008年北海道洞爺湖サミット環境総合事務局局長。2012年株式会社あかりみらい起業。全国のカーボンニュートラル対策、完全LED化に取り組む。